

# 個人質問



令和4年12月5日、6日の2日間、13人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

## 会派

※4面以降会派名は略称で表示しています。  
自民党＝自由民主党静岡市議会議員団(22人)  
創生静岡(8人)、公明党＝公明党静岡市議会(6人)  
志政会(6人)  
共産党＝日本共産党静岡市議会議員団(4人)  
緑の党＝緑の党グリーンズジャパン(1人)  
街づくり研究会(1人)

## 語句説明

**検討委員会**  
「サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」のこと。静岡市附属機関設置条例に基づき、令和4年4月1日に設置。市のまちづくりに資するサッカースタジアム等について調査審議する。

## 検討委員会のスタジアム候補地の評価

質問者 児嶋 喜彦(志政会)

Q 365日人を集めるためには、試合が開催されていない時にどれだけ市民に来てもらうかが重要であり、まず併設施設全体で稼働率を上げる工夫が必要となる。候補地の一つであるJR清水駅東口のエネオス社の土地は、まちづくりや交通アクセスなどについて、検討委員会でのように評価されているか。

A 当該土地は、公共交通のアクセスに優れ、周辺地域の活性化が期待できる。一方、土壌汚染の可能性、防災や騒音・交通渋滞等の多数の課題があるため、対応やコストを検証する必要があると評価されている。

## 次期静岡市スポーツ推進計画の策定

質問者 市川 正(共産党)

Q スポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利とされており、そこに暮らす人が健康で生き生きとした生活を営めるよう、施策を講じることがスポーツ基本計画の原点であると考えます。次期静岡市スポーツ推進計画は、スポーツ基本法をどのように踏まえて策定していくのか。

A 次期計画では、基本法の前文を踏まえた基本理念を掲げ、「する」スポーツだけでなく、「スポーツを「みる」視点、「支える」視点も含めた「静岡型スポーツ・イン・ライフ」をスローガンとして、さらなるスポーツの推進を図るよう策定作業を進めている。

## 清水地区の新たな水源確保

質問者 山梨 渉(公明党)

Q 台風15号での断水を受け、北部・南部ルート、工業用水、八木間ポンプ場などを活用する方策がとられた。清水地区の水源は承元寺取水口に大きく依存しており、災害時や渇水時への対応を含めた観点から、安定的な新たな水源の確保を検討しなければならぬと考えるが、どのように進めるか。

A 地下水利用や北部・南部ルートの増強、取水口の複数化など新たな水源の検討を進める。整備方針については、学識経験者などで構成される検討会で議論し令和5年内に複数の対策案をとりまとめる。この対策案を、上下水道事業経営協議会でさらに審議し、6年度の早い時期に、最適案を決定していきたい。

## 災害情報の収集・発信

質問者 浜田 佑介(創生静岡)

Q 災害後、被災住民にとって一番辛いことは世間から忘れ去られることである。被災住民や関係者が情報を集める負担を減らすために、市からの積極的な情報発信が必要であり、災害現場の情報収集・共有が欠かせないが、台風15号における対応は不十分だったと言わざるを得ない。情報の収集・発信についてどのような見直しを考えているか。

A 市民が知りたい情報を一元的かつ総合的に知ることができる災害時総合情報サイトを早期に構築し、同サイトを各部署が連携して運用するためのルール作りや職員の配備体制を再編成することで、迅速な情報の収集と発信ができるよう取り組む。

## 災害時における電動車の活用と企業連携

質問者 石井 孝治(創生静岡)

Q 災害時の非常電源としての電動車の活用は、今後ますます拡大していく。県内でも自動車会社と災害協定を結び、災害時に避難所へ電動車の無償貸与を実施している市がある。災害時に電動車を電源供給車として活用できるよう、企業との連携をどのように進めていくのか。

A 市内のFCV保有の複数企業と災害時等における利用について協定を締結しており、また、FCV普及に向けた覚書を締結して非常用電源として活用できる車両の無償貸与も受けている。今後は、自動車販売事業者等、より多くの企業と連携体制を構築できるよう取り組んでいく。

## 語句説明

### スポーツ基本法

スポーツに関し基本理念を定め、国や地方公共団体の責務・スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成等に寄与することを目的とする。

## カトリック清水教会の保存と活用

質問者 堀 努(自民党)

Q カトリック清水教会は歴史的・文化的価値が高いかけがえない地域資源であり、保存すべき歴史的建造物であると考えます。所有者は、老朽化を理由に取り壊そうとしたが、解体移築へ判断が変わった。しかし、保存に向けては課題が山積みであり、市の積極的な関与が必要であるが、教会の歴史的・文化的価値をどう捉え、保存と活用についてどう考えるか。

A 本教会は歴史的価値のある地域のシンボルとして大切に保存すべきである。地元住民の要望を受けて所有者と協議し、市民団体による移築保存について調整を図った。移築だからこそできる活用方法を見出し、みがきあげていくことが大切と考えている。

## 語句説明

### 北部ルート

災害時などに水を相互に融通できるよう、安倍川を水源とする静岡地区と興津川を水源とする清水地区をつなぐ水道施設。

### 南部ルート

高松取水場の地下水を草薙配水池へ送水できるように整備された水道施設。

### 承元寺取水口

興津川に設置され、清水地区で利用される水道水の約6～9割を取水している。

## 被災者支援のための国保料減免措置

質問者 杉本 護(共産党)

Q 国保料の減免措置の申請期限は、条例で納期限の7日前と定められているが、被災世帯は、日々の復旧に追われて精神的、肉体的な余裕がなく、誰もが期限までに申請できない上に広報も十分ではない。り災証明書も発行まで平均2週間しかかかっていない。突発的な災害時には特別な配慮が必要であり、期限を過ぎても対応すべきと考えるが、いかがか。

A 条例では申請期限の例外は設けられておらず、申請期限を過ぎたものは遡って減免措置を適用できない。国保料の納付が困難となった方については、各世帯の状況に配慮した納付相談に応じる。

## 語句説明

### 電動車

動力に電気を使う自動車。EV(電気自動車)、HV(ハイブリッド自動車)、PHEV(プラグインハイブリッド自動車)、FCV(燃料電池自動車)など。

## 語句説明

### カトリック清水教会

フランス出身のドラエ神父が建造に尽力し、清水区の岡地区に昭和10年に建造された、ゴシック様式の木造教会。

